

日本史特殊講義7B-II

科目ナンバリング JPH-214
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、近現代における日本政治史を扱う。具体的には、満州事変から日中戦争にいたる諸動向を、日本政治の特質、および対外関係、経済情勢、社会変動などの視点から講義し、現代に通じる課題を提起していく。

2. 授業の到達目標

受講生各位が近現代日本の歴史に関心をもち、昭和戦前期の政治・外交・経済・社会のうごきを説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績を重視して、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

木村茂光ほか 大学でまなぶ日本の歴史 吉川弘文館

参考文献

北岡伸一 日本の近代5 政党から軍部へ 中央公論新社

有馬学 日本の歴史23 帝国の昭和 講談社

升味準之輔 日本政治史3 政党の凋落、総力戦体制 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

講義で示される内容と関連する事項について、教科書・参考書などを読解して理解を深めること。

6. その他履修上の注意事項

本講義は、微細な年代や事象名の暗記を目的としない。講義内容をもとに思考を重ね、自己の感想を持つようにしてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・講義内容について
- 【第2回】 満州事変① 柳条湖事件と第二次若槻内閣
- 【第3回】 満州事変② 協力内閣運動と政権交代
- 【第4回】 満州事変③ 満洲国建国と犬養内閣
- 【第5回】 五・一五事件と政党政治の崩壊
- 【第6回】 中間内閣期の政争と外交① 斎藤実「挙国一致」内閣の成立
- 【第7回】 中間内閣期の政争と外交② 高橋財政の展開
- 【第8回】 中間内閣期の政争と外交③ 岡田内閣と天皇機関説事件
- 【第9回】 中間内閣期の政争と外交④ 統制派と皇道派
- 【第10回】 二・二六事件と政治体制の変動
- 【第11回】 華北分離工作・満州事変後の日中関係
- 【第12回】 第一次近衛文磨内閣の成立・二大政党と軍部の対立
- 【第13回】 日中戦争① 盧溝橋事件
- 【第14回】 日中戦争② 初期和平工作の失敗
- 【第15回】 まとめ・最終試験